2019年度ドコモ市民活動団体助成事業

『いじめ防止 CAP 白書』

～新発田市「いじめ防止対策事業」1500 人の子どものアンケートから見えること～

被害者、加害者、傍観者の意識はどう変わったか

CAP・にいがたは、2018 年度から、新発田市のすべての小学５年生、中学１年生に CAP のプログラムを実施してきました。CAP 子どもワークショップの直前・直後アンケートの分析から、いじめの構造と被害者・加害者・傍観者の子どもたちの気持ちの変化を考察し、CAP プログラムの有効性を検証します。

【シンポジスト】

精神科専門医、日本自殺予防学会会員　渡邉　良弘さん

新潟大学教職員大学院　教授　相庭　和彦さん

新潟 NPO 協会代表理事　石本　貴之さん

【ゲスト】

新発田市教育長　工藤　ひとしさん

●日　時：2020 年8月2日（日曜）１４：００～１６：００

●会　　場：　新潟ユニゾンプラザ　５階　中研修室

●定　　員：　40 名（関心のある方どなたでも）

●参加費　：　５００円　『いじめ防止 CAP 白書』を進呈します

●要申込み：　電話・fax（025-265-1617）

メール（cap.n@violin.ocn.ne.jp）

※当日の実施あたっては、新型コロナウイルスの感染予防対策にそって運営いたします。（裏面参照）
駐車場が限られています。公共交通機関をご利用ください。

主催：ＮＰＯ法人　子ども・人権ネット　　ＣＡＰ・にいがた

〒951-8127　新潟市 中央区関屋下川原 2-18
025－265－1617
（TEL は火・水・木曜の 13～17 時、
FAX は 24 時間受け付けています）

E－mail：cap.n@violin.ocn.ne.jp

MCF
Mobile Communication Fund
ドコモ市民活動団体助成事業

感染拡大防止ガイドライン： NPO 法人子ども・人権ネット　CAP・にいがた

≪主催事業（公開おとなワークショップ、講演会等）等の開催運営について≫

１．会場の安全対策

□密集・密着を防ぐために、会場定員の 50%以下に人数を制限します。

□密閉を防ぐために、定期的に換気します。

□消毒液、除菌シートを配備します。

□共用箇所は随時清掃します。

□床に直接物を置かないようにします。荷物置き台やコート掛け等を用意します。

□飲物やのど飴等を適宜取ることを推奨します。主催者が用意する場合は、個包装のものに限定し茶菓コーナーの清潔保持に努めます。

２．参加していただく皆さんへのお願い

□体調に心配がある場合は、無理をしないでください。

□ご自身で体温測定してからご来場ください。未測定の方は会場入り口で非接触型体温計で検温をしていただきます。

□会場にお越しになる際は、感染予防のための対策を各自で行ってください。

□入室前に手洗い・手指消毒等をしてください。

□会館内ではマスクの着用をお願いします。

□参加予定の皆さんには「お願い事項」を事前に周知します。

３．その他

□参加者を把握するために事前申し込みとし、延期等の変更が生じた場合は、個人へ連絡すると同時にホームページでもお知らせします。

CAP（キャップ）とは　Child　Assault　Prevention　子どもへの暴力防止

安心・自信・自由はおとなにも子どもにも大切な権利です。おとなは子どもが、いじめ、不審者、虐待などの暴力にあうことが心配です。でも心配だからと言って24時間一緒にいることはできません。 そんなときにとても役立つ方法がCAPプログラムです。子どもには自分を守る方法を教え、おとなには子どもの持つ力を信じ、どのように支えていくか、また、いじめや暴力を受けた子どもの話をどのように聴いたらよいか具体的な方法を伝えます。おとなワークショップは劇を交えての楽しい内容です。

CAP・にいがた

CAP・にいがたは1996年に発足し、今年で２４年を迎えます。子どもの人権が尊重され、一人ひとりの子どもが大切にされる社会を目指し、３５人のメンバーで活動しています。現在までに子ども・おとな・教職員合わせて約16万5千人にワークショップを届けることができました。